

帷子地区センター はつらっつ(認知症予防教室) 日誌

日時 令和8年2月12日 木曜日 13:30~15:00 天候 晴れ

チームN 中津智広 伊藤千加良 小林友美

1 スケジュール

| プログラム名 | 備考 |
|--------------------------------------|-------------------|
| 挨拶 HWリアリティオリエンテーション 姿勢・発声トレーニング (中津) | 事務・写真撮影 運営スタッフ |
| ストレッチ・筋トレ (伊藤) 嚥下トレーニング (小林) | |
| 認知症予防講座 (のぞみの丘ホスピタル 認知症治療病棟看護師 渡邊) | |
| コグニサイズプログラム (伊藤 小林) | |
| 挨拶 | |

2 認知症予防講座 (俗称：プチ講座)

| 講座名 | 内容 |
|-------------------------------|--|
| 認知症の方との関わり方について～認知症看護視点から～ | タイトルは認知症の方との関わり方…今回は、BPSDにより入院治療が必要な方を治療・看護・リハにて支援する目的の認知症治療病棟の説明を行う。認知症で問題とされるのがBPSD。中核症状に心理的・身体的・環境的な要因が加わり、認知症の方の混乱につながってしまう…対応方法は、その方の世界を理解することが大切!! 早期での治療が大切であり、支えるご家族には…「早く、専門の医療機関に相談を!」とメッセージ。認知症の専門治療病棟の機能を地域の方に発信される良き機会となった。法人が担う認知症に関連する様々なサービス(機能)は、全てつながっていなければ成立しない。 |
| 担当 | |
| のぞみの丘ホスピタル 認知症治療病棟看護師 渡邊博文 | |
| 時間 | |
| 14:15~14:45 | |

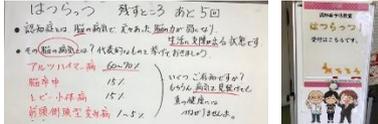
3 コグニサイズメニュー

| 内容 |
|--|
| 足踏み + 数唱 (数字の課題にて上肢操作・手拍子) |
| 足踏み + 作業記憶課題 (じゃんけん+ルール) ストループ課題 (文字・色の識別) |
| 足踏み + 空間認知課題 注意課題 言語課題 計算課題 |
| 1人で行うコグニサイズと感染対策を徹底し対面(ペア)でのコグニサイズ。 |

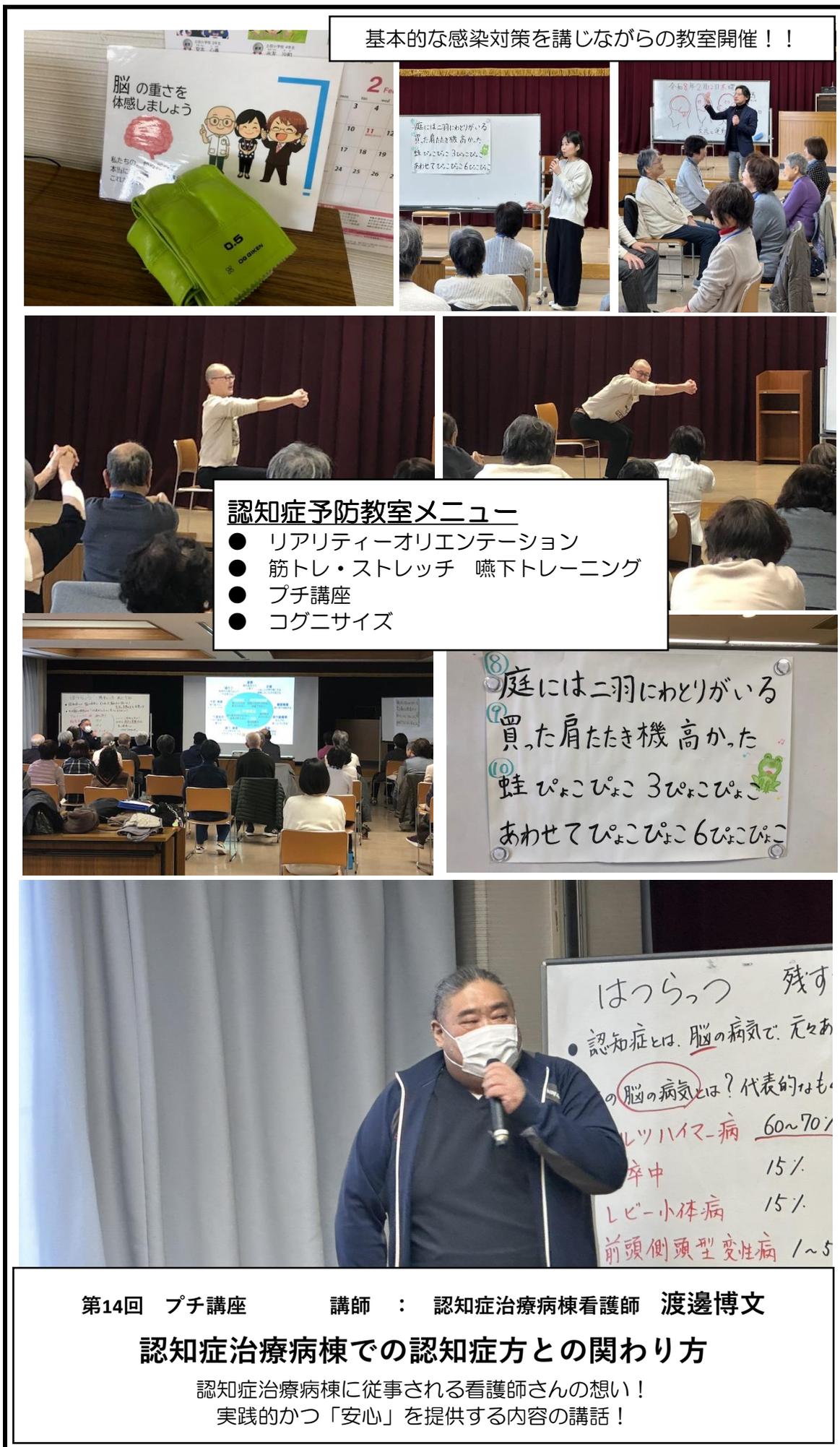
4 その他メニュー

| | | |
|---------------|---|--------------------------------|
| バイタルサインプログラム① | → | 受付にて検温・問診 |
| バイタルサインプログラム② | → | 血圧測定 |
| 教室の説明 スタッフ紹介 | : | 可見市高齢福祉課より説明 |
| 相談 | ⇒ | 参加者さまからのニーズに合わせて対応 包括スタッフに随時報告 |

5 反省・次回の予定など

| | | | |
|--|------|----|----|
| <p>2025年度 後期の可見市 認知症予防教室事業「はつらっつ」が開催される。基本的な感染対策を行いながら教室運営。マスク着用は個人判断であるものの、皆さんの感染対策意識は高く、手指消毒、換気やソーシャルディスタンスにも気を配りながらトレーニングを実施。運動に伴う体調変化や転倒予防も常時、気を付けていく。</p>  | 参加者数 | | |
| | 性別 | 男性 | 女性 |
| | 人数 | 8 | 21 |
| | 合計 | 29 | |
| / 37名中 | | | |

その他 運営スタッフ数名



基本的な感染対策を講じながらの教室開催！！



- 認知症予防教室メニュー**
- リアリティオリエンテーション
 - 筋トレ・ストレッチ 嚙下トレーニング
 - プチ講座
 - コグニサイズ



⑧庭には二羽にわとりがいる
 ⑦買った肩たたき機高かった
 ⑥蛙ぴよこぴよこ3ぴよこぴよこ
 あわせてぴよこぴよこ6ぴよこぴよこ

はつらつ 残す
 ● 認知症とは、脳の病気で、元々あ
 の脳の病気とは？代表的なもの
 レツハイマ-病 60~70%
 卒中 15%
 レビ-小体病 15%
 前頭側頭型変性病 1~5%

第14回 プチ講座 講師：認知症治療病棟看護師 渡邊博文
認知症治療病棟での認知症方との関わり方
 認知症治療病棟に従事される看護師さんの想い！
 実践的かつ「安心」を提供する内容の講話！